

## 国体における長野県代表監督・選手等の選考基準

### 1 監督・コーチの選考について

- ・監督・コーチは、強化部で候補者を決め、常任理事会を経て、総会で承認を得る。ただし、やむを得ない事情で、総会后に決めなければいけない場合は、常任理事会の承認を得る。

### 2 選手の選考について

- ・次の選考会の結果から決定する。

#### (1) 少年の部（選手5名、予備登録選手2名）

- ・4月～7月までに、複数の選考会を開催し、各選考会の個人順位に応じたポイントを設定、全選考会のポイントの合計により、ポイント合計の1位～5位を選手、6位7位を予備登録選手とする。

#### (2) 成年の部（選手3名で内1名大学生出場可能、予備登録選手大学生1名、社会人1名）

- ・青年の部（30歳未満で大学相撲部卒業生以外）、一般の部、大学生の部に分け、選考会を開催する。ただし、大学生の人数により、一般の部と大学生の部を一緒に行う場合もある。
- ・選考会の青年の部1～3位、一般の部1～3位、大学生1位の選手により、代表選手決定戦を行い、上位3名を選手とする。4位を予備登録選手とする。上位3位以内に大学生が入った場合は、大学生の2位を予備登録選手とする。4位に大学生が入った場合は、5位に入った選手を予備登録選手とする。
- ・青年の部、一般の部と大学生の部を同一日に選考会を開催できない場合は、青年の部と一般の部のそれぞれ上位3名の選手より、代表選手決定戦を行い、上位2名を選手とする。3位の選手は、別日に実施する大学生の部1位の選手と代表選手決定戦を行い、勝者を選手とする。敗者を予備登録選手とする。大学生の部1位の選手が勝者となった場合は、大学生の部2位の選手を予備登録選手とする。

#### (3) 予選会免除者

- ・相撲競技において、予選会免除者は、認められていない。

### 3 選考基準の周知について

- ・大会要項に明記し、周知する。

### 4 選手の選考結果の説明について

#### (1) 少年の部

- ・最終選考会后、監督より口頭で周知する。後日、当該校校長宛に書面にて周知する。

#### (2) 成年の部

- ・選考会後の理事会を経て、監督より口頭で周知する。後日、所属長宛に書面にて周知する。